

WEB版動画講習会

講習会・セミナーのご案内



一般財団法人 日本建築センター

The Building Center of Japan

入門編

応用編

法令解説

設計・施工マニュアル

動画講習

構造

「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」
WEB版動画（プログラム1、プログラム2）講習会のご案内

2018年版冷間成形角形鋼管マニュアルのWEB版動画講習会です。
設計者編プログラム1と施工編プログラム2の2コース！
いずれも建築CPD認定講習会です。

■「2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」の発行

旧2008年版マニュアルの発行以降の、法改正、学会規準類の改訂及び国交省の基準整備促進事業を含む各種研究成果等を反映し改訂された、2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」が刊行されました。これに伴い、2018年3月～7月までに東京、大阪にて講習会を開催し多くのご受講をいただきました。

■WEB版「2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」講習会について

今回のWEB版講習会は、前回の講習会開催以降にマニュアルを購入された方等からマニュアルの概要について理解したいというご要望をいただいたこと、また、引き続き当該マニュアルをはじめご購入される方が多いことから、2018年度に開催された講習会の内容を基に制作した動画による講習会です。
※本WEB版講習会を受講するためにはインターネットを視聴できる環境が必要です。

※視聴期間は14日間です。

■「2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」の主な改訂のポイント

1. 建築基準法改正による既存不適格建築物に対する基準の緩和を反映した内容としています。
2. 建築学会「鋼構造接合部設計指針」改定内容の反映・はり端接合部及び柱はり接合部を中心に改訂しています。柱はり接合部については、径が異なる上下の柱を厚肉のダイアフラムでつなぐ形式とテーパ管を使用した形式の異幅接合形式について詳述しています。
3. 各種研究成果の反映
 - ・2008年版の補遺としてWEBで公開している「STKR柱補強設計・施工マニュアル」を付録として収録し、本編第4章にその概略を掲載しました。
 - ・国土交通省の住宅・建築関連先端技術開発助成事業による「25度狭開先ロボット溶接」の研究成果を5章に「25度狭開先溶接」として詳述しました。
4. 製品規定の改訂（新JISの反映）
 - ・BCR、BCP、BCP325Tの製品規定を新JISを中心に最新情報を反映しBCRについては最大板厚を22mm～25mmに拡大しました。
5. 施工編では以下のとおりまとめました。
 - ・ロボット溶接中心に構成し日本建築学会JASS6等との整合を図りました。
 - ・2008年版では、固有名称の「NBFW法」を使用しておりましたが、今回より一般名称の「脆性破壊防止溶接積層法」を使用することとしました。
 - ・その他関連指針、研究成果を反映しました。

主催

一般財団法人 日本建築センター

動画システム

公益財団法人 建築技術教育普及センター

※本講習会は、2022年度より（一社）日本建築構造技術者協会（JSCA）の建築構造士登録のための評価対象講習です。

プログラム1:2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル 設計編（105分）：2単位

時間	内容	講師
30分	2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアルの改訂概要	「2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」編集委員
75分	2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル設計編	

プログラム2:2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル 施工編（105分）

時間	内容（予定）	講師
30分	2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアルの改訂概要	「2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」編集委員
75分	2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル施工編	

WEB版講習受講料（税込）		テキスト
プログラム1 （概要＋設計編）	4,000円	<テキスト> 2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル 発行：一般財団法人 日本建築センター *日本建築センター、全国書店でご購入できます。
プログラム2 （概要＋施工編）	4,000円	

※テキストは必ずご参照頂けるようにお手元にご準備ください。

※※決済方法は、視聴される方のクレジットカードによる決済又はゆうちょ銀行のみになります。